事務事業名 **中心市街地街路等整備事業化検討調査事業** 整理番号 **32401-000** 所 管 都市計画課計画・第二東名スタッフ

事務事業の位置付け

期間	平成	18年度 -	平成	19年度	根拠法令	・要綱等	中心市街地流	舌性化剂			
基本計画	画におけ	基本政策	3-2	ゆとりる	と潤いのある	5市街地	整備の推進		4-2-1	商業・サービス業の振興	
る位置	51717	政策	3-2-4	拠点・ロ	面的な都市圏	怪備の推済	#	政策			

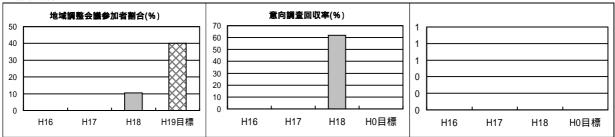
事務事業の内容

目 的 (何のために)	中心市街地における街路等の整備を具現化させるための事業手法等の検討をする。
対 象 (誰・何を)	中心市街地を訪れる人々及び中心市街地に居住する人々
手 段 (どのようなや り方で)	中心市街地の街路沿道における商業者、住民及び土地所有者等の意向調査、交通量調査、土地利用調査等により当該地区における街路整備等の整備方法を検討する。
成 果 (どのような状 態にしたいか)	住民意向の把握と精度の高い現況確認により、街路等整備計画の熟度を上げ、実施に移行する。
事務事業の背 景・住民の意向	中心市街地における商業等の衰退から、都市施設の整備による地域の活性化と、駅周辺の渋滞解消により利便性の 向上に期待を寄せている。
見直し改善の 経過	住民意向調査により店舗の共同化等による街の再編化に対する意向は低く、交通安全施設の向上に対する要望が多いことから、整備手法に対する着目を広げた。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績		40.) ==1 (T.D.)	■直接経費(上段)
平成16年度			投入コスト(千円)	□人件費(下段)
1 132 10 7 12		10,000		
		8,000		8881
平成17年度		6,000		
十八八十尺		4,000		
	1000周6米周均类440 北京华四人40 60克克·罗木40 705	2,000		
	TMO等関係機関協議11回、地区説明会1回、住民意向調査1回、報告	_,,,,,		
平成18年度	書の取りまとめ及び概要書の作成 意向調査回収率61.9%(目標60%)	0 =	16年度 17年	度 18年度

評価指標



事務事業の評価

チャッチャン	1 1144			
観点別・一次	(評価(担	当部署の評価)	コメント	
	必要性		中心市街地活性化事業の推進により、駅広の整備、周辺道路の 整備により安全で利便性の高いまちに変りつつある。今回検討	
観点別評価	有効性		調査を行う街路等整備事業が推進することで、地域における街 並みづくりの機運が高まり、御殿場市の顔として形成されることにつなげていく。	
	効率性			今後の方向性
一次評価	В			継続
二次評価(彳	宁政評価	委員会の評価)	コメント	今後の方向性
二次評価	В		事業化の方向づけができるよう関係住民の理解を高める必要がある。	継続

改革プラン

平成19年度か	県、公安、沿道商業者、地域住民参加による協議会の設定。
らの対応	整備事業手法の調整。
平成20年度以 降の対応	地域住民によるまちづくり検討の推進。
改革により予	街路事業と一体となる沿道まちづくりにおいて、行政で取組むこと、地域で取組むことが明確になり、まちづくり
想される成果	の推進につながる。